平野ヶ丘

多治見市立養正小学校
校 報『平野ヶ丘』
令和４年度 学校報 第１２号
令和５年２月２７日(月)発行
「みなさまのおかげで、本年度
創立１５０周年を迎えました。」

『 イチゲツイヌル ニゲツニゲル サンゲツサル 』

← 日の出が早くなったせいか、登校も少し早まった気がします。

校 長 熊 﨑 健 一

『一月往ぬる（行く）、二月逃げる、三月去る』。子どもたちにはあまり馴染みのない言葉かもしれません。これは、お正月から３月にかけては恒例行事が多く、あっという間に時間が過ぎてしまうことの喩え（たとえ）として使われる言葉です。１月は、冬休み明け集会に始まり、各学年の体験活動やあいさつ運動、入学説明会などを行いました。２月は、土と版画展、校内作品展、掃除リーダー会、通学リーダー・班会、養正教育の日などが続きました。そして間もなく３月。６年生を送る会、中学校半日入学、新掃除リーダー会、卒業式練習、最後は卒業証書授与式、令和４年度の修了式。年度末に向けて一気に加速するような時期に突入していきます。

３月の授業日は、６年生が１６日、５年生までが１７日となります。学級によっては、“カウントダウンカレンダー”の登場に盛り上がっています。この時期の多くは、今年度のまとめであったり来年度の準備であったりするわけですが、慌ただしい毎日の中でも充実感を味わい、進学・進級への期待感をドンドンと膨らませていってほしいものです。

２月１４日に市内の小・中学校の校長先生方に来校いただきました。学習の様子も観ていただきました。多くの先生方から「養正小学校の子どもたちは、笑顔で気持ちのよいあいさつができますね。」「とても学習に集中できていていいですね。」「仲間と学び合う姿が自然で、発言する声も大きくて素晴らしいですね。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました（子どもが褒められるのは、何より嬉しい！）。これまでに頑張って身につけてきた力は、こんな場面でもしっかりと発揮されています。

子どもたちの姿を見ていると、逃げ去って行こうとする３月を追い越すくらいの勢いで今年度を締めくくろうとしているようで、とても頼もしく感じます。

優秀賞をいただきました！ ～令和4年度『岐阜県ふるさと教育表彰』～

この表彰は、『ふるさと教育』の充実をめざす岐阜県が、ふるさとの魅力や課題を知る学習や地域課題を探究する学習における優れた実践を顕彰するものです。今年度は、開校150周年に向けた取組を中心に、次のような内容を報告しました。①多治見工業高校の協力によるロゴマークのデザイン、②多治見高校生徒による英語学習、③3校合同の資源回収、④笠原町で生産されたタイルの使用（ゆめタイル）、⑤各学年における地域や県内での体験的学習、⑥『たじみ弁カルタ』を活用した多治見の方言や歴史・文化・産業への理解など。いずれも多治見市や岐阜県の魅力に触れ、子どもたちに郷土愛を育むことにつながる取組が評価されました。

今回、県内の小・中学校や高校、特別支援学校から計102校（小学校は70校）が表彰されましたが、市内小・中学校からは本校が唯一の受賞校となりました。本年度は、150周年にちなんだ取組も多かったわけですが、今後も、“ふるさと多治見”・“ふるさと岐阜”に関心をもって学び、「多治見大好き！」・「岐阜県大好き！」な子どもたちに育ってくれるよう活動を工夫していきたいと思います。

表彰状

岐阜県ふるさと教育表彰
優秀賞

多治見市立養正小学校

貴校は地域の自然や歴史、伝統文化産業を学び人々とのふれあいを深めながら清流の国ふるさと岐阜を愛し誇りに思う心を育んでこられました児童生徒の皆さんには地域で学んだ清く優しくたくましく生きていこうとする心を大切にして一層活躍されることを期待しこれを賞します

令和五年二月一日

岐阜県教育委員会
教育長 堀 貴雄